

高次脳機能障がい者と難病者が社会参加する地域活動支援センター「デイスービスおむすび」から発信

おむすび通信

創刊号

2022（令和4）年 1月11日 発行
特定非営利活動法人デイスービスおむすび
〒173-0005 東京都板橋区仲宿45-6
TEL.FAX 03-3579-7059
Eメール：omusubi@polka.ocn.ne.jp
URL：<http://omusubi.or.jp>



新しい一年、よろしくお願ひ申し上げます。

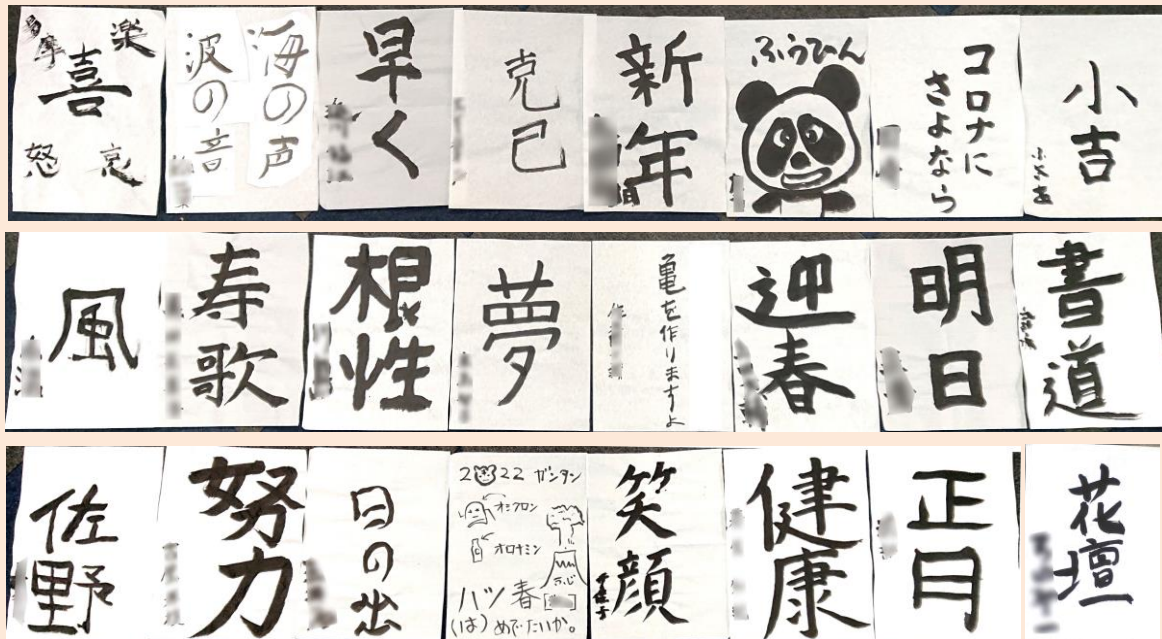
これまで年1回発行の「おむすび新聞」から新たに隔月発行の「おむすび通信」にリニューアルいたしました。日々変化するデイスービスおむすびの最新の情報をお届けいたします。今後のご愛読、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さあ、新しい年が始まりました。

一昨年、昨年とコロナ禍で大変な生活を強いられましたが、今年もまだまだ油断が出来ない新年を迎えました。新型のオミクロン株がどの様に私たちに災いしてくるか。日々刻々と情報が錯そうしていますが、昨年同様に感染予防をしっかりと施しながら新しい年を迎えたいと思います。さて、おむすびでも新年の集まりは滞りなくスタートしました。昨年は初日から自粛で自宅待機でしたが、今年は例年と同じく皆さん、元気な笑顔で顔合わせができました。

おむすび書初め大会

昨年は書けなかった書初め。二年ぶりに筆の冴えを披露してもらいました。



筆自慢の皆さんの作品をご覧ください。題材は「正月」。古典あり、随筆あり、イラストありで自由に書くのがおむすび流。もちろん、書いている時は、皆さん真剣そのもの。その瞬間が大切なんです。

早速、所内に展示です。中々、壮観ですよ。昨年は展示を中止しましたが、おむすびではこうして毎年、書初めを展示して「自分は元気」と発表する場を提供しています。今年は何を書こうかアイデアを練るのもリハビリの一環ですね。



おむすび演芸広場♪

1月8日、今年最初の所内レクリエーション「演芸広場」が始まりました。待ちに待った歌の練習ですが、感染予防策を施しながらの開催です。感染防止シールドはもちろん、秘密兵器？「歌えるマスク」を使用しての歌唱です。本来ならステージを想定して横一列に並びたいところですが、着席しての練習でした。曲目は「ピリブ」「手の平に太陽を」の十八番に加え新曲「昴」「乾杯」「人生いろいろ」「上を向いて歩こう」など本番さながらの熱唱でした。♪



2018年の「障がい者記念週間・ふれあいコンサート」での発表会。今年こそはコロナが去り、このステージに立ちたいです。

新年の再開を祝して全員で記念写真。
早くマスクを外せる社会になりたいですね。

おむすび 井戸端広場

演芸広場と同時に開催された新レクリエーション「誰でも井戸端広場」。歌は苦手、なんて方もコーヒーやTVで交流を楽しみましょう。というのがテーマです。これから大きく育てたいプログラムです。



早くも新しいプログラム？
第一回「けん玉選手権」が始まりました。
と言ってもけん玉自慢の両名が腕前を披露しあい和気あいあいのひと時を楽しみました。

おむすびメンバー 今年の抱負と昨年の振り返り

Kさん…健康第一。あと少しでも仕事(収入UP)がしたい。
Hさん…おむすびに来てOさんに会う事。
Sさん…今年も「亀」を教えたい！
Mさん…今年もMRIのお世話にならないようにしたい。

Oさん…健康第一。入院したくない。おむすびに普通に
通いたい。
Sさん…油断しないで一年間、生きて行きたい。
Aさん…すべての事を受け止める(前向きに)。
Nさん…「亀」以外の「ふくろう」「クマ」「かに」に
チャレンジしたい。

メンバー全員の談話は聞けませんが、皆さん歩んできた思いは同じ。デイサービスおむすびはこれからも高次脳機能障がいの方、難病の方、中途障がいと向き合う皆様の社会参加を目指し、いきがいの場、憩いの場、交流の場として躍進して行きたいと思っております。